



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社クリエアナブキ
 コード番号 4336 URL <https://www.crie.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上口 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 別宮 貴仁

TEL 087-822-8898

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,606	3.5	55	21.4	62	13.6	37	10.3
2019年3月期第1四半期	1,664	4.3	70	30.0	72	28.5	41	32.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 40百万円 (13.6%) 2019年3月期第1四半期 47百万円 (29.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	16.05	
2019年3月期第1四半期	17.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	2,155	1,108	48.2	449.55
2019年3月期	2,105	1,094	48.7	443.50

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,039百万円 2019年3月期 1,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,260	1.2	60	6.4	80	15.3	44	16.0	19.03
通期	6,720	3.8	106	7.0	145	11.4	82	13.4	35.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	2,340,000 株	2019年3月期	2,340,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	27,473 株	2019年3月期	27,473 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	2,312,527 株	2019年3月期1Q	2,312,527 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、個人消費が持ち直し、設備投資が増加するなど、景気は緩やかな回復基調にあります。人材サービス業界に関しては、有効求人倍率が1.6倍台で高止まり、完全失業率が2%台の低水準で推移するなど、人手不足感の強まりを受けて、雇用情勢は改善を続けております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、新たなコーポレートスローガン「ひとに翼を。」を掲げ、女性の労働参加率の向上や海外人材の活用など、中四国の労働市場の現状に即した地域経済の活力の維持・向上に必要な施策の展開により、中四国での多様な雇用機会の創出を通じた収益の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、中国地域において人材派遣売上が減収となったこと、各種施策に係る先行投資により経費が増加したことなどから、売上高1,606,463千円(前年同四半期比96.5%)、営業利益55,202千円(同78.6%)、経常利益62,841千円(同86.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益37,108千円(同89.7%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

各セグメントの営業利益の合計額は167,434千円ですが、全社費用等の調整(調整額△112,232千円)により、四半期連結財務諸表の営業利益は55,202千円となっております。

① 人材派遣事業

当事業の売上高は843,043千円(前年同四半期比93.2%)、営業利益は92,198千円(同88.4%)となりました。

当社グループの主力である当事業では、強みを有する事務系派遣や紹介予定派遣に加えて、軽作業系の派遣、子育てや家事と両立しやすい時短派遣にも注力いたしました。また、子育て世代の女性にすこやかな働き方を提案するプロジェクト「ママ友ワーキングラボ」において「親子でおしごと相談会」を継続的に開催するなど、女性就業支援への取組みを一段と強化いたしました。中国地域での売上低迷から、前年同四半期の実績を下回りました。

なお、2019年3月のコーポレートスローガン「ひとに翼を。」公表にあわせてリニューアルしたコーポレートサイト(<https://www.crie.co.jp/>)について、期初から、求職者が必要な情報を簡単に検索・閲覧できる様々な新機能を追加しております。

② アウトソーシング事業

当事業の売上高は616,734千円(前年同四半期比103.2%)、営業利益は46,436千円(同111.6%)となりました。

株式会社クリエ・ロジプラスが営む物流関連アウトソーシング事業では、減少傾向にある主たる取引先からの受注が比較的底堅く、他の取引先からの受注も概ね堅調に推移いたしました。当社単体のアウトソーシング売上も増収となったことから、前年同四半期の実績を上回りました。

なお、当社は、株式会社ママスクエアとの間に締結したフランチャイズ・チェーン加盟契約に基づき、前期の「クリエ×ママスクエア高松」に続いて、中国地域で初めてとなる未就学児の母親を対象とした見守りスペース付オフィス「クリエ×ママスクエア広島」を当社広島支店事業所内に開設し、2019年7月から事務系業務の請負を開始しております。

③ 人材紹介事業

当事業の売上高は48,911千円(前年同四半期比90.1%)、営業利益は19,752千円(同90.2%)となりました。

収益性の高い当事業では、東京と大阪の「中国・四国UIターンセンター」を軸に、自治体との連携強化を図りながら、2大都市圏から中四国への人材還流に繋がるUIターン転職を積極的に推進いたしました。また、地域在住の幅広い層の求職者を対象とした中四国域内での転職支援にも注力いたしました。成約件数が全般的に伸び悩み、前年同四半期の実績を下回りました。

なお、海外人材活用の取組みの一環として、前期末からベトナム人の高度人材を地域企業に紹介するサービスを開始しております。

④ 採用支援事業

当事業の売上高は84,228千円(前年同四半期比88.6%)、営業利益は6,044千円(同38.5%)となりました。

株式会社採用工房を中核企業として首都圏や近畿圏で営んでいる当事業については、企業の求人・採用に係る代行業務において業況が急変した一部取引先からの受注が著しく減少したことなどから、前年同四半期の実績を下回りました。

⑤ その他

再就職支援、研修・測定サービスなど、上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は13,546千円（前年同四半期比108.8%）、営業利益は3,002千円（前年同四半期は580千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ50,453千円増加して2,155,974千円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の計上等に伴う現金及び預金の増加（1,147,868千円から1,213,891千円へ66,022千円増）などによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ36,781千円増加して1,047,762千円となりました。これは、短期借入金の増加（18,000千円から55,000千円へ37,000千円増）などによるものであります。なお、有利子負債の期末残高は、前期末に比べ37,000千円増加して125,000千円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ13,671千円増加して1,108,212千円となりました。これは、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の変動（676,011千円から689,995千円へ13,983千円増）などによるものであります。なお、自己資本比率は、前期末より0.5ポイント低下して48.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、2019年5月10日付 当社「2019年3月期 決算短信」にて公表いたしました数値から変更はありません。

なお、最近の業績動向については、本資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,147,868	1,213,891
売掛金	665,671	649,729
仕掛品	123	5,292
原材料及び貯蔵品	1,230	1,296
前払費用	19,271	28,002
未収還付法人税等	8,156	-
その他	8,345	9,214
貸倒引当金	△912	△1,036
流動資産合計	1,849,755	1,906,390
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	54,966	59,560
工具、器具及び備品(純額)	9,559	11,052
有形固定資産合計	64,525	70,612
無形固定資産		
のれん	9,882	7,961
ソフトウェア	27,013	27,253
電話加入権	4,525	4,525
無形固定資産合計	41,421	39,740
投資その他の資産		
投資有価証券	2,311	2,290
繰延税金資産	75,612	65,116
差入保証金	71,004	70,934
その他	889	889
投資その他の資産合計	149,818	139,230
固定資産合計	255,765	249,583
資産合計	2,105,521	2,155,974

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	18,000	55,000
未払金	89,527	102,334
未払費用	446,036	458,568
未払消費税等	85,862	106,435
未払法人税等	40,574	10,974
預り金	43,276	78,556
賞与引当金	92,395	40,511
その他	5,611	7,483
流動負債合計	821,284	859,863
固定負債		
長期借入金	70,000	70,000
退職給付に係る負債	119,695	117,898
固定負債合計	189,695	187,898
負債合計	1,010,980	1,047,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	676,011	689,995
自己株式	△6,679	△6,679
株主資本合計	1,025,052	1,039,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564	550
その他の包括利益累計額合計	564	550
非支配株主持分	68,924	68,626
純資産合計	1,094,541	1,108,212
負債純資産合計	2,105,521	2,155,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,664,266	1,606,463
売上原価	1,304,678	1,256,810
売上総利益	359,587	349,653
販売費及び一般管理費	289,359	294,451
営業利益	70,227	55,202
営業外収益		
受取利息	36	0
受取賃貸料	603	203
助成金収入	2,060	6,577
その他	39	1,065
営業外収益合計	2,740	7,846
営業外費用		
支払利息	241	189
為替差損	-	17
営業外費用合計	241	207
経常利益	72,726	62,841
税金等調整前四半期純利益	72,726	62,841
法人税、住民税及び事業税	12,392	11,518
法人税等調整額	13,045	10,502
法人税等合計	25,437	22,020
四半期純利益	47,288	40,821
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,908	3,712
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,380	37,108

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	47,288	40,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△14
その他の包括利益合計	△40	△14
四半期包括利益	47,248	40,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,339	37,093
非支配株主に係る四半期包括利益	5,908	3,712

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	904,750	597,696	54,305	95,063	1,651,814	12,451	1,664,266	-	1,664,266
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	378	-	2,577	6,150	9,106	-	9,106	△9,106	-
計	905,128	597,696	56,883	101,213	1,660,921	12,451	1,673,372	△9,106	1,664,266
セグメント利益又は セグメント損失(△)	104,278	41,620	21,895	15,706	183,500	△580	182,920	△112,692	70,227

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△112,692千円には、セグメント間取引消去1,928千円、のれん償却額△276千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,344千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	843,043	616,734	48,911	84,228	1,592,916	13,546	1,606,463	—	1,606,463
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	371	—	—	6,150	6,521	4	6,526	△6,526	—
計	843,415	616,734	48,911	90,378	1,599,438	13,551	1,612,990	△6,526	1,606,463
セグメント利益	92,198	46,436	19,752	6,044	164,431	3,002	167,434	△112,232	55,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△112,232千円には、セグメント間取引消去1,574千円、のれん償却額△276千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△113,529千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。